

キヤノングローバル戦略研究所 (CIGS)

「中東における脱炭素とエネルギー地政学の変化」

- 日時： 2025年6月3日(火) 15:00-16:45
- 会場： 日本工業倶楽部2階大会堂 東京都千代田区丸の内1-4-6
東京駅北口徒歩2分(対面形式)
- 講師： 舟津龍一 外務省中東第2課長
城山英明 東京大学法学部教授
上野貴弘 電力中央研究所上席研究員
- 言語： 日本語(同時通訳なし)
- 参加登録先：<https://forms.gle/G9p5DXFgG12WBPAf9>

趣旨

エネルギーと地政学は密接に連動し、「石油の時代」である戦後の復興期及び経済成長期には石油が世界の地政学に大きな影響を与えてきた。そして現在では、再生可能エネルギーの生産に欠かせない希少金属や技術革新が新たな地政学的要素として注目されている。

石油をはじめとする化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が世界の地政学に与える影響とは何か、そしてこれまで「石油の時代」を支えてきた中東地域、特に湾岸産油国は今後どう変化し、その変容が世界のエネルギー地政学にどのような影響を及ぼしていくのだろうか。また世界の変化の中で、日本はどう対応していくべきなのだろうか。こうした問題意識に基づいて、キヤノングローバル戦略研究所では「脱炭素と中東エネルギー地政学」研究会を組織し、検討を続けてきている。

その一方、中東地域ではイスラエルとハマスの紛争以降、シリア崩壊やイエメン問題などさらに緊張が高まっている。ウクライナや欧州と米国など世界政治の展開とも相まって、中東地域に対する世界の関心がさらに高まっているところである。このような時期に、本セミナーでは、グローバルな脱炭素の進展で最も大きな影響を受けるとされる中東地域を取り上げ、改めて現状を確認しつつ、そのうえで脱炭素が地政学に与える影響について幅広い観点から議論を行う。

○ セミナー プログラム

第1部	
15:00- 15:05	開会挨拶 福井俊彦 キヤノングローバル戦略研究所(CIGS)理事長
15:05- 15:25	基調講演 1 舟津龍一 外務省中東第2課長
15:25- 15:45	基調講演 2 城山英明 東京大学法学部教授
15:45- 15:55	「脱炭素と中東エネルギー地政学研究会」 報告 辰己雅世子 CIGS 研究員
第2部	
15:55- 16:40	パネルディスカッション モデレーター：田中伸男「脱炭素中東地政学」研究会座長、 元国際エネルギー機関(IEA)事務局長 — 城山英明 東京大学法学部教授 — 上野貴弘 電力中央研究所上席研究員
16:40- 16:45	閉会挨拶 芳川恒志 CIGS 研究主幹
17:00- 19:00	レセプション 日本工業倶楽部 4階 第4会議室